

公益社団法人日本新体操連盟

平成 29 年度第 3 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 29 年度第 3 回理事会
2. 日時： 平成 29 年 7 月 10 日（月） 19 時 00 分～20 時 40 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館」
4. 構成員現在数： 16 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）池田真喜子（専務理事）
渡辺 守成（常務理事）秋山エリカ（理 事）崇島 慎一（理 事）
谷口 裕代（理 事）橋本 千波（理 事）熊谷 正儀（理 事）
村田 愛子（理 事）守永 直人（理 事）小島浩二郎（監 事）
以上 12 名
6. 欠席役員： 関田史保子（副 会 長）福本 隆（副 会 長）山崎 浩子（常務理事）
谷原 誠（理 事）宮嶋 泰子（理 事）
以上 5 名

7. 議案：
報告事項
報告事項 1 平成 29・30 年度役員について（定款第 19 条関連事項）
報告事項 2 平成 29 年度登録状況について（定款第 5 条関連事項）
報告事項 3 平成 29 年度事業経過報告について（定款第 4 条関連事項）
決議事項
第 1 号議案 クラブ団体選手権について（定款第 4 条関連事項）
第 2 号議案 大会罰則制度について（定款第 4 条関連事項）
第 3 号議案 AGG 事務移行について（定款第 4 条関連事項）
第 4 号議案 AGG 大会について（定款第 4 条関連事項）
第 5 号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を二木会長、小島監事、熊谷理事、谷口理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 12 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、石崎副会長が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議事進行

報告事項 1 平成 29・30 年度役員報告について（定款第 19 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 29 年 6 月開催の総会にて下記役員が平成 29・30 年度役員として承認された。

会長	二木 英徳	イオン株式会社・名誉相談役
副会長	石崎 朔子	日本女子体育大学・学長
副会長	関田 史保子	東京女子体育大学・名誉教授
副会長	福本 隆	日本テレビ鳩友会・副理事長
専務理事	池田 真喜子	公益社団法人日本新体操連盟・事務総長
常務理事	山崎 浩子	公益財団法人日本オリンピック委員会・新体操強化本部長
常務理事	渡辺 守成	イオンリテール株式会社イオン新体操クラブ・代表
理事	秋山 エリカ	東京女子体育大学・教授

理事	熊谷 正儀	仙台ジュニア体育研究所
理事	崇島 慎一	共同通信社・運動部次長
理事	谷口 裕代	コスモスR G・代表
理事	谷原 誠	みらい総合法律事務所・弁護士
理事	橋本 千波	P E G A S U S・代表
理事	宮嶋 泰子	テレビ朝日・スポーツコメンテーター
理事	村田 愛子	イオンリテール株式会社イオン新体操クラブ・コーチ
理事	守永 直人	公益社団法人日本新体操連盟・職員
監事	小島 浩二郎	税理士法人晴海パートナーズ・代表社員

2. 任期は平成 31 年 6 月頃に行われる「平成 30 年度報告総会」までとなる。
3. 新任理事として、熊谷理事と村田理事が挨拶を行った。

(質疑・意見)

質疑・意見はなかった。

報告事項2 平成 29 年度登録報告について(定款第 5 条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 平成 29 年 6 月 30 日時点の登録状況を報告差し上げる。

加盟クラブ数 579 クラブ
 前年 553 クラブ
 継続登録 517 クラブ
 新規登録 62 クラブ

登録選手数 8551 名
 総会員数 29702 名
 指導者数 1462 名
 審判数 1218 名

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、継続登録と新規登録の内訳の質問があった。守永理事より、減少分半分は系列クラブの登録をしなくなったこと。新規登録の半分も系列クラブの登録であることが説明された。

池田専務理事より、クラブ経営について連盟から企画する必要があるのではと意見があった。

報告事項3 平成 29 年度事業経過報告について(定款第 4 条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. エントリーを締め切った下記大会のエントリーについて説明があった。

クラブ選手権 229 クラブ 687 名(前年緒 197 クラブ 591 名)
 団体選手権 182 クラブ 1116 名(前年緒 146 クラブ 902 名)
 新体操祭 46 チーム 1323 名(前年緒 50 クラブ 1420 名)
 イオンカップ 26 か国 28 チーム(26 か国 31 チーム)

2. 主要大会では参加者が増加傾向にある。イオンカップでは昨年並みのエントリーがあり、競技日程 4 日間開催にしなければならない状況となった。団体選手権では後ほど審議をいただくが、予定通りの開催が出来なくなった。

(質疑・意見)

質疑・意見はなかった。

第1号議案 クラブ団体選手権開催方法について（定款第4条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 参加数が増え、今まで通りの競技面1面進行が出来ない。
ジュニアを1フロアで行うか、予選を設けるか検討いただきたい。
ジュニア1フロア案
メリット 審判団を同じで行える。
計画案に近い状態で開催できる。
デメリット 順番によって音楽環境に差が出る。
競技の時間が長くなる。
ジュニア予選案
メリット 数に対応できる。
音楽環境は公平
デメリット 予選が審判団の構成が2つになる。
計画案から大幅な変更取る

（質疑・意見）

谷口理事より、シニアを土曜日、AGGを日曜日にやることが提案された。
秋山理事、谷口理事、村田理事より、音楽環境に差が出ようとも、同じ審判団で行うことが重要だと意見があった。

以上の議事後、第1号議案「クラブ団体選手権競技方法について」はシニアを土曜日に行うジュニア1フロア案にて全会一致で承認可決された。

第2号議案 平成29年度大会罰則制度について（定款第4条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 大会参加者数が増え、スペース的な余裕がなくなった。手具などで怪我をする危険性が増している。
2. 練習スペースを会議室に新たに設けるが、会議室内では絶対に手具を使っては困る。
3. 以前より各種禁止ルールを設けているが、守らないチームが目にする。
4. ルールを守っているクラブの正当性を守りたい。
5. ルール違反について、減点などで規制したい。

（質疑・意見）

谷口理事より、フロア配置位置を変えて対応できないかと質問があった。守永理事より競技面が増えスペースが少ないこと。演技面の後ろのスペースはマットを半面から1面に拡充したことが説明された。

村田理事より、競技に関係ないことによる減点には違和感がある。笛など吹くと反感もできると意見があった。石崎副会長より同意の意見があり、次年度の出場停止などで対応してはと意見があった。

崇島理事より、競技は行うが順位から外す案が提案された。

二木会長より、1度目で練習場から退場させる案が提案された。

熊谷理事より、警告1回目で、すべての練習停止。2回目で順位除外の提案があった。

以上の質疑、意見の後、第2号議案「大会罰則制度について」は警告1回目で全ての練習停止。2回目で順位除外とすることを全会一致で承認可決された。

第3号議案 AGG種目事務移行について（定款第4章関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 経緯説明、AGGの取り扱いにあたり、一般の混乱を招かぬようAGG連盟が解散すること

を条件に AGG を種目として受け入れることとなった。

2. 現状 ホームページ運営、グッズ販売、国際大会選手派遣、国際連盟役員派遣等各種事務の移行が残っている。
3. 新体操連盟にて AGG を取り扱うに伴い、方向性を決めたい。特に国際大会派遣については早めに決める必要がある。

(質疑・意見)

石崎副会長より、ホームページ、グッズ販売等事務移行手続きを話し合う場を設けることが提案された。

渡辺常務理事より、現状自己負担での国際派遣なら、団体選手権の結果により派遣選手団を決定することとし、次年度計画総会で案内すべきとの意見があった。

守永理事より、現状の国際派遣対象大会にどれくらいか、大会の開催時期はいつかと質問があった。石崎副会長より、世界選手権、ワールドカップに派遣している。開催時期は5月6月頃にシーズンが終わる。現在はセレクションで選んでいる。11月頃には派遣選手を決めたいと意見があった。

二木会長より、AGG 部会など検討の必要があると意見があった。

渡辺常務理事より、8月の団体選手権の上位から大会選択権を与え、自費にて派遣すること。出場権獲得チームにチーム編成権を与えることの提案があった。

池田専務理事より、国際役員派遣について理事会にて決定する必要があると意見があった。

以上の質疑、意見の後、第3号議案「AGG 種目事務移行について」の事務移行は早急に事務局と AGG 連盟と進めていくこと。国際選手派遣は団体選手権上位順に出場大会選択権、チーム編成権、来年の大会に関しては特例として、選手登録がない選手も代表チームに入ることが出来ること。自費による参加とする事が全会一致で承認可決された。

第4号議案 AGG 大会開催について (定款第4章関連事項)

議長は説明者として石崎朔子副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 昨年より3月に岐阜にて大会を予定していた関係上体育館を抑えていたところ、アジア選手権の開催を IFAGG (国際 AGG 連盟) から打診された。
2. 大会開催の詳細説明者として、久保田さおり氏から説明を差し上げる。
3. 国際連盟では大会カテゴリーが ABC 三段階ある。今回提案のアジア選手権は B カテゴリーとなる。
4. IFAGG にはアジアより、7か国の加盟、非加盟国が35か国ある。
5. 予定日程は2018年3月9日～11日 岐阜メモリアルセンターメインアリーナにて開催予定。参加予定国は計15か国50チームを予定。
6. 予算200万円での開催を予定。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、FIG でもどのように AGG を扱うのか決まっていない事。アジア選手権を開催するための主催はどうなるのかはっきりしていない事。アジア選手権となるとアジア連盟をつくり日本がアジアを牽引していく覚悟、価値がるのか疑問だと意見があった。

以上の後、第4号議案「AGG 大会について」は3月の開催を見送ることが全会一致で承認可決された。

第5号議案 その他について

議長は議場に提案・意見を図ったがなかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事、監事及び指名議事録署名人は次に記名押印する。

平成 29 年 7 月 10 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 29 年度第 3 回理事会

議事録署名人（代表理事） 二 木 英 徳

議事録署名人（監事） 小 島 浩二郎

議事録署名人（指名） 熊 谷 正 儀

議事録署名人（指名） 谷 口 裕 代